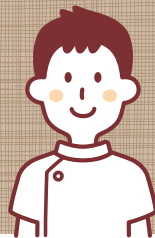


塩釜支部便り

令和6年2月発行 ●発行責任者 塩釜支部長 志田 智子 (松島病院)



活動報告

研修会を行いました

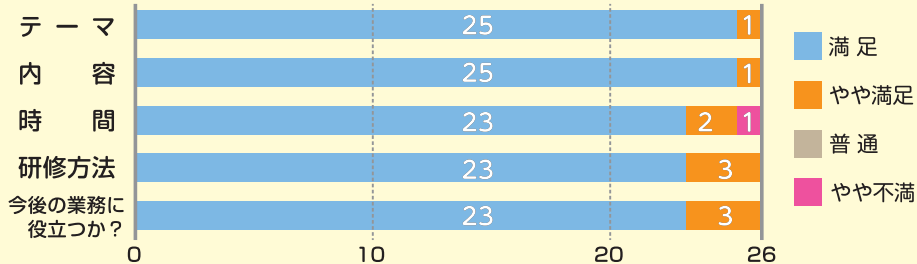
2023年10月31日にリフノスにて以下のような研修会を開催し、29名の参加がありました。

テーマ「若者世代の特徴を生かした効果的な新人教育を考える」塩釜准看護学院 石田先生より「若い世代(学生)への学校での取り組み」と題して、Z世代やY世代の時代背景による特徴を考慮した実際の学校での取り組みを紹介して頂きました。

その後、参加者での各病院の取り組みや困った事等のグループワークを開催。



研修のアンケート結果 参加者29名中26名からの回答



自由記載では以下の様な意見が出されました。

- Z/Y 世代の理解を通して今後の新人対応できそう
- 新人教育の参考になった。職場に持ち帰りたい
- 他施設の指導方法が学べ、院内でも活用できそう
- 新人だけではなくスタッフの対応にも活用できそう
- プリセプター・アソシエートナースの役割分担など他施設の意見を聞いて参考になった

塩釜支部 会員紹介

松島医療生活協同組合
訪問看護ステーションまつしま
岩淵 純子様



自己紹介

2005年より訪問看護に携わり、ベテランと言われる年数になってしまいましたが、まだまだ修行中です。

5人家族で、休日はラジオを聞きながら家事をするのが、仕事とプライベートの切り替えになっています。

職場の紹介

スタッフは看護師6名と理学療法士4名。対象は小児から高齢者。

精神科訪問看護や在宅でのお看取り等24時間オンコール体制で、住み慣れた地域で療養できるよう支援を行っています。嬉しかった事は共有し、不安な事は相談しやすい雰囲気大切に、お互いさまの精神で困難を乗り越えています。

仕事を続けて今思う事

自分ひとりの力や努力だけでは、長きにわたり看護師という仕事を続けていく事はできません。周囲の方々の手助けはもちろん、利用者さんとの関りから「生き方」を学ばせて頂いています。いつも謙虚に感謝を忘れず、過ごしたいものです。

働いている看護職に一言

「一期一会」出会いを大切に。

訪問看護は、多職種との連携が必須。お互いが信頼できる連携を図っていききたい。

編集 後記

今回は、10月に行った研修の内容と、会員を紹介するコーナーを設けてみました。コロナとインフルエンザが交互に猛威を振るう中、塩釜管内会員の皆様は日夜仕事に励んでいらっしゃると思います。お互い、励ましあい、ともに地域の方達のため良い看護を目指しましょう。